

【別紙1-2】

1. 希少植物の生息域外保全活動 植物栽培方法等の比較表

(注1) 実生……種子から発芽した苗を育てること

(注2) 少なくとも平日(毎日)の管理ができる場合の育てやすさ

	種名 (科名)	レッドデータブック 記載ランク(国、府)	花期	自生地の環境	栽培環境・方法 (容器栽培として)		殖やし方 【交雑しやすい植物 は実生(※1)を推奨 しない】	育てやすさ(注 2) 5(易)～1(難)
					日照	水やりの注意		
A	フタバアオイ (ウマノスズクサ科)	—	3～5月	落葉樹林下	春先は明るい場所、5月以降 は半日陰、盛夏は日陰に	水はけの良い土で、ムレない ように。5月～9月は乾燥に 注意する。	株分け、実生	3
B	フジバカマ (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅寸前種	9月下旬～10 月	川の堤防、水田 周辺などの明るい 水辺	日当たり好む、盛夏の西日 は苦手	盛夏は腰水灌水、1日2回 (灌水が不可能なら日射を避 ける)。	挿し芽	4
C	ヒオウギ (アヤメ科)	京都府準絶滅危惧種	7月中旬～9月	海岸の草地、海 岸林、山の草地	日当たり好む。	乾燥には強いが、花期前・盛 夏は日射と乾燥による葉焼 けに注意。	株分け、実生	5
D	キクタニギク (キク科)	環境省準絶滅危惧(NT) 京都府絶滅危惧種	10月下旬～11 月	乾いた川の法面、 山麓の土手	日当たり好むが、盛夏の日射は 苦手。短日植物であり、夜間照 明の近くに置かない。	乾燥にはやや強いが、盛夏 は乾燥に注意	挿し芽	4
F	カワラナデシコ (ナデシコ科)	—	6月～9月	農地周り、河川敷 などの里草地	日当たりを好む。	水はけを好み、水が溜まらない ようにする。盛夏は乾燥しすぎ ないよう水を十分やる	挿し芽、実生	4
H	ワレモコウ (バラ科)	—	7月～10月	日当たりのよい湿性 地など里草地	日当たり好む、盛夏の西日 は苦手	乾燥にはあまり強くない。夏 は特に注意する。	株分け、実生	3
L	ノハナショウブ (アヤメ科)	京都府準絶滅危惧種	5月～6月	日当たりのよい湿 原、湿った里草地	日当たりを好む。	湿気を好み、乾燥には強くない。 夏は腰水灌水する	株分け	5
M	イワギボウシ (キジカクシ科)	京都府準絶滅危惧種	8月～9月	山中の湿った岩 上や樹上	春先は明るい場所、5月以降 ～秋は半日陰	湿気を好み、乾燥には強くない。 表土が乾いたら十分に 灌水	株分け、実生	4